

# 4町の絆を深め、そして 南丹市の元気・笑顔を東北へ届けたい！



▲ダンスの練習をする元気いっぱいの子どもたち

東日本大震災は、直接被災していないNPOグローアップのメンバーにとつても、とても大きな影響を与えるものでした。「今後、自分たちは子どもたちに何を残してあげられるのだろうか。今の地域社会のあり方ってどうなのだろう」など、いろいろなことを考えさせられたそうです。

南丹市が合併して5年余りがたちますが、子育て面から見ても4町が独立している感じで「もっと多くの子どもたちと遊ばせたい。引越してきたがなかなか地域になじめない」といった声上がるなど、子育て家庭が出会う機会がまだまだ少ないと感じられています。

グローアップのメンバー自身が子育て世代ということもあり、東日本大震災や地域社会の状況に対し、今自分たちにできることは、「4町でイベントを催し、元気を東北に届けること」であると思いい、8月14日、南丹市やぎの花火大会において『マル・マル・モリ・モリ』を踊ってエールを送ることに決めました。この踊りは『マルモのおきて』という家族の絆を描いたテレビドラマで使われたものです。「親子の絆、4町の絆を深めたい」といったNPOグローアップと参加者の熱い思いと重なるものがありました。

## インタビュー



NPOグローアップ  
代表  
あきた ゆうこ  
秋田 裕子さん

NPOグローアップは、親が「自分と子の幸せ」について考える場所を設け、安心して子育てができる環境を周辺地域に発信すべく平成19年から活動しています。

子育て世代は、出産から育児、家事などで社会から離れがちだと思われるでしょうが、この世代は地域の人と交流したり、いろんなことを勉強する時間があったりと、意外と視野を広げるチャンスだと私たちは考えています。その時期に自分たちにできること、やりたいことをやるうと活動しています。メンバーも自由に意見を出し合って、自分たちが楽しむという活動を大切に活動しています。

今回の活動に向けて、園部町で5回、八木町で6回、日吉町、美山町でそれぞれ1回練習を行いました。本番では南丹市として1つになる姿を見せ、東北に元気を届けられました。